

大雨に備えて



台風や集中豪雨への備えは万全ですか？
家の中、周囲をしっかりとチェックしておきましょう！

● 屋外では

- ◎ 屋根 瓦のひび割れやズレ
- ◎ 雨樋 雨落ち葉や土砂の詰まり
- ◎ ベランダ 鉢植えなどの飛散の危険
- ◎ 外壁 亀裂や腐り、浮き
- ◎ プロパンガス ボンベの固定
- ◎ ブロック塀 ヒビ割れや破損
- ◎ 窓ガラス ヒビ割れや窓枠のガタツキ

● 屋内では

- ◎ 停電に備え懐中電灯や携帯ラジオの準備
- ◎ 断水に備え飲料水の確保
- ◎ 避難に備え非常持ち出し品の準備
- ◎ むやみに外出しない
- ◎ 台風や大雨の気象情報を注意深く聞く
- ◎ 浸水に備え家財道具を高い場所に移す
- ◎ 高齢者、乳幼児、病人、障害者は安全な場所に
- ◎ 家族で避難場所や離れた時の連絡方法を確認

● 雨の強さと降り方

1時間雨量 (mm)	予報用語	人の受けるイメージ	災害発生状況
10以上～20未満	やや強い雨	ザーザーと降る	この程度の雨でも長く続く時は要注意
20以上～30未満	強い雨	どしゃ降り	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模の崖崩れが始まる
30以上～50未満	激しい雨	バケツをひっくり返したように降る	山崩れ・崖崩れが起きやすくなり危険地帯では避難の準備が必要
50以上～80未満	非常に激しい雨	滝のように降る(ゴーゴーと降り続く)	マンホールから水が噴出、土石流が起こりやすく、多くの災害が発生する
80以上～	猛烈な雨	息苦しくなるような圧迫感がある	雨による大規模な災害の発生するおそれが高く、厳重な警戒が必要

● 避難準備情報

要配慮者等、特に避難行動に時間を要する人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。

● 避難勧告

通常の避難行動ができる人が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況。

● 避難指示

前兆現象の発生や、現在の切迫した状況から、人的被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況。

土砂災害の種類と前兆



あらかじめ避難所と避難経路を確認しておきましょう！

● がけ崩れ

- がけからの水がにごる
- 地下水や湧き水が止まる
- 小石が落ちてくる
- 斜面のひび割れ、変形がある
- がけから音がする
- 異様なにおいがする

● 土石流

- 雨が降っているのに、川の水位が下がっている
- 山鳴りがする
- 川の水がにごったり、流木が混ざっている



● 地すべり

- 地面にひび割れができる
- 井戸や沢の水がにごる
- 家やよう壁に亀裂が入る
- がけや斜面から水が吹き出す
- 家やヨウヘキ、樹木、電柱が傾く

地震発生！安全避難のポイント5か条



1 まずは落ち着いて行動

- ☆ 身の安全を確保する！
～ 机の下などに身を隠す、頭を守る、非常脱出口を確保しましょう

2 あわてずに火災を防ぐ

- ☆ 火を止める！消火！
～ 使用中のストーブ等の火を消す、火が出たらまず消火しましょう

3 ここには近寄らない

- ☆ 狭い路地、壁ぎわ、崖、川べりは危険！
～ これらの場所からは遠ざかりましょう

4 避難のテクニック

- ☆ 避難するときは必ず徒歩で！
～ 携帯品は必要品のみにして背負うようにしましょう

5 正しい情報の入手を

- ☆ 市役所・消防・警察・ラジオなどの情報に注意！
～ デマに惑わされないようにしましょう




非常用持出品・備蓄品 チェック

貴重品類		チェック欄
通帳、カード、健康保険証、運転免許証などは番号を控えたメモかコピーを用意しておくといでしょう。	現金・小銭	
	預金通帳・カード	
	印鑑・保険証・免許証	

避難用具		チェック欄
懐中電灯はできれば一人に一つ用意したいもの。 笛は閉じ込められたときなど場所を知らせます。 	懐中電灯	
	携帯ラジオ	
	笛・ホイッスル	
	予備の乾電池	
	ヘルメット・防災ずきん	



外出先で被災する場合もあるので、必要なものは常に身に付けるようにしておきましょう。コンパクトで軽いものが理想的です。

生活用品		チェック欄
避難所生活に最低限必要なものです。 赤ちゃんや高齢者、障害者がいる場合など考慮して揃えましょう。 	厚手の手袋・長靴	
	毛布・携帯用カイロ	
	缶切り・ラップ	
	ライター・マッチ	
	ロープ・ナイフ・工具類	
	カセットコンロ	
	紙皿・紙コップ・割り箸	

救急用具		チェック欄
救急箱には絆創膏・消毒液など。 その他ビタミン剤など日頃使っているサプリメントなどもあるといでしょう。 	救急箱	
	処方箋の控え	
	胃腸薬・便秘薬・持病の薬	
	生理用品	

非常食品		チェック欄
最低3日分は用意しましょう。 そのままで食べられるものが便利です。 	乾パン・アルファ化米	
	缶詰・レトルト食品	
	栄養補助食品	
	アメ・チョコレート	
	飲料水(1人1日3ℓが目安)	

衣料品		チェック欄
衣類は動きやすいものを選びましょう。 セーターなどの防寒具も寒い季節には役立ちます。	下着・靴下	
	長袖・長ズボン	
	防寒用ジャケット・雨具	



避難するときの持出品は非常用持出袋に入れ、玄関など持ち出しやすい場所に置いておきましょう。